

公開
シンポジウム



装いから
花街今昔
が
い

〈日時〉

2016年11月6日(日) 13:00~16:00
(開場12:30)

〈会場〉

立命館大学衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館
1階カンファレンスルーム(京都市北区等持院北町56-1)

一般公開 参加無料、申込不要、定員50名(先着順)

ゲストスピーカー / 南 登美子(京都美容文化クラブ会長、有職美容師)

パネリスト / 溝縁ひろし(日本写真家協会会員、フォトハウス・ぶち)

加藤 政洋(立命館大学文学部、准教授)

田中 圭子(東京都教育委員会、学芸員)

司 会 / 松田有紀子(国立民族学博物館、日本学術振興会特別研究員PD)

〔主 催〕 科学研究費助成事業特別研究員奨励費「花街の担い手コミュニティの日常的実践に関する歴史人類学的研究」(代表：松田有紀子)

〔共 催〕 立命館大学大学院先端総合学術研究科

〔お問い合わせ〕 立命館大学独立研究科事務室 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL / 075-465-8348

E-mail / doku-ken@st.ritsume.ac.jp (貝發)

装 い か ら 知 る

花 街 今 昔

まいこ げいこ
京都が誇る「伝統」の象徴と謳われる舞妓、芸妓。

そしてその営業の場である花街。近世から現在にいたるまで、移り変わる時代に合わせて、花街で生きる人々は自らのあり方を変容させながら存続してきました。2020年の東京オリンピック開催が間近に迫り、日本の文化が取りざたされる昨今、京都という都市に今も息づく花街の「伝統」に、国内外からの関心が集まっています。

本シンポジウムでは、このような現状をふまえ、変容し続ける花街における「伝統」の核心について装いという視点から迫ります。その上で、どのような形でもって「伝統」を次世代に継承するかという問題について、一般の参加者を交えて検討します。

プログラム

13:00~13:15 開会あいさつ、ゲストスピーカーおよびパネリスト紹介

第一部 上映会 「花街の昔を振り返る一装いという視点から」

13:15~13:30 解説「絵画のなかの舞妓、芸妓」 田中圭子

13:30~13:45 解説「高度経済成長期前における祇園の風景」 溝縁ひろし

13:45~14:00 解説「昭和35年祇園祭の《ねりもの》〜縄手通りの光景〜」 加藤政洋

14:00~14:20 講演「装いから振り返る祇園町のいとなみ」 南登美子

14:20~14:35 休憩

第二部 パネルディスカッション 「花街の今と、次世代につなぐ『伝統』」

14:35~14:40 コメント 田中圭子

14:40~14:45 コメント 溝縁ひろし

14:45~14:50 コメント 加藤政洋

14:50~14:55 コメント 南登美子

14:55~15:30 質疑応答

15:30~15:45 総括 松田有紀子

15:55~16:00 閉会あいさつ

[立命館大学衣笠キャンパス]

平井嘉一郎記念図書館 1階カンファレンスルーム(京都市北区等持院北町 56-1)

http://www.ritsumeit.ac.jp/library/service/libraryriyou/hml_booking.html

[アクセス]

● JR/近鉄京都駅から

市バス 50 にて 42 分、快速 205 にて 36 分、「立命館大学前(終点)」下車

市バス 205 にて 38 分、「衣笠校前」下車、徒歩 10 分

JR バスにて 30 分、「立命館大学前」下車

● 阪急電車西院駅から

市バス快速 202/ 快速 205 にて 15 分、臨にて 17 分、

「立命館大学前(終点)」下車

市バス 205 にて 13 分、「衣笠校前」下車、徒歩 10 分

● 京阪電車三条駅から

市バス 15 にて 34 分、市バス 51 にて 36 分、「立命館大学前(終点)」下車

市バス 59 にて 40 分、「立命館大学前」下車